

寿都町・美しい海作り研究 第2回会議 平成15年度実施計画打合せ結果

平成15年8月1日午後6時から8時まで
寿都町役場

1. 平成15年度計画説明

資料に基づいて各担当幹事から

2. 参加者意見 (技):技術士会側参加者(6名) (寿):寿都町側参加者(役場6名、町民4名)

美しい海作り

(技) 右肩上がりの時代は終わり、経済原理だけでは都市・地域は再生しない。

持続可能性のある対象に目を向けた計画が必要。

寿都町には優れた自然、歴史など良い資源がある。これらを一体的に未来永劫残していくことが必要。

その意味で「美しい海作り」を寿都の差別化戦略として取り上げることが提案したい。

「美しい海」にこだわった資源保護、商品開発を町作りの政策として進めていかれてはどうか。

「住民活動に支えられた美しい海」から採れた商品ということで消費者の信頼感を得ることに繋がる。

多くの分野にまたがる技術士の集まりとしても参加し易いテーマでもある。

今年は景観破壊やゴミといった問題に対する現状把握に努めたい。

町民の間に組織を立ち上げ、町起こしに向けた展開にストーリー性のある提案を挙げればその組織を受け皿に国が補助金を出すという流れもある。

(寿) こういうプロジェクトが立ち上がるのは良いことだと思う。

浜中地区では海岸線に砂が少なくなってきている。原因系が山にあって大雨等で移動しているのでは？

「海を美しく」って何か意味があるの？という声も聞こえそうだが、寿都に住んでいての財産はこの湾だ。

通勤で国道を自転車で行っているが景色が何ともいえない。海沿いにサイクリングロードがあれば良い。

海岸線の景観が子供の頃から見ると変わってしまった。景観を無視した護岸・消波が行われてきた。

擁壁で海岸が見えない所があったり、歩道が連続していない所があったりする。

国道沿いはビューポイントが豊富で散歩や自転車にはちょうど良い。

漁協は密漁防止に草刈をしているが、景観を妨げる背の高い草が国道沿いに連続する所がある。

それらの問題や原因を技術的に考えることが出来れば良い機会だ。一緒に参加したい。

ファンクラブ

(技) 「美しい海作り研究」とは別のテーマで町の方々と一緒に町の活性化に繋がる活動を考えたい。

又、それを寿都町に関連のある方々に連携を呼び掛け、大きな輪に広げる仕組みを考えたい。

「美しい海作り研究」にファンクラブの力を借り、共同で実践活動が出来れば理想的だ。

町のホームページ(HP)に「美しい海作り」を紹介しながらファンクラブ会員を募るのは効果があるのでは？

Web

(技) Webについては、情報を発信する動機作りを広げることが大事。

商売に絡めた情報で利用が進まなければ展開して行かない。

商売系のものは公共性のあるHP上に展開することは抵抗があるが技術士会の当研究会の成果を出すHPを利用して町の活性化の一つの実験として有期でやってみることも出来るのでは？

行政からの一方通行が多いが、地域イントラを全国的にという動きもある。

ネットワーク化としての利用を図って行くべき。

(寿) 町(公共という意味での)にはHPが無いので個人的に作って町内の人達に利用して貰っている。

漁協はネット販売で年間6,000件の実績がある。売上としては3,000万円を計画している。

寿都町には未だADSLが入る計画は無い。

町内でインターネットをやっている人達は高速化を望んでいるが高速化のメリットを良い方に活用していない。

ライブカメラを付けてアクセス出来れば寿都の景観をベースに置いたHPが出来る。

全体計画

(寿) 今回の調査には技術士会側の8月4日の決定内容に協力出来るよう町側の体制を考えたい。